

新入園の幼兒を迎へて

藤井利譽

○一人一人の發達を

私共は、また、多くの新しい子供を迎へる時となつた。今更、事新しくいふ迄もなく、この子供達は、皆、大切な家の寶、國の寶の一人一人である。幼稚園で、よし三十人、四十人を一つの組にまとめるとしても、それは、便宜上のごとで、彼等は團體として一くるめに取扱はれる筈のものでなく、どこ迄も、一人一人として、それ／＼の方向に發達して行くべきものであることを忘れてはならぬ。

○自然にのびて行く力

次に、その一人一人が發達をさげて行くために、何にもないどころにこちらからつめ込むといふのではない、彼等は各々の中に力を有して居るので、所謂、衝動的の働きがある。お友達と遊ぶことによつて、子供はその既に有する社交性を満足させる。事

物にぶつかつては、之を考究するといふ力をもつてゐる。即ち種々雜多なる事柄に出會つて、それを敢へてして行くといふ力をもつてゐるわけである。この彼等に固有の力、自然にのびて行く力、之を我々は助けねばならない。しかし、助けるといふことは、發達すべきその素質を一層よくその方向に向ふことの出来るように助けるといふことであつて、決して教育者自身の抽象的にたてた目的計畫に導く意味ではない。

○環境をこゝのへるこゝ

我々は、兒童の天性を充分尊重したく、その發達を助けるのに、植えたての苗を幾度もぬき出して見てもかへつて枯らしてしまふといふ愚をしてはならぬが、しかし、自然の發達といふことは、これをたゞ自然に放任しておけといふことではないと思ふ。此處に教育者の力の加はるところがある。彼等は、も

とより、自然に發達する力を有してはゐるが、之をたゞ放任しておけば、間違つた方向にのびるとか、又は全くのびないで終るといふことのある。それ故、彼等の有する力に障礙を興へるものをのぞくこと、また、積極的に之を導くことが必要である。そこで、この場合最も大切なことは、幼稚園に於ては、兒童の周圍をととのへるといふ事である。この周圍、環境はまた自然の方面と人事の方面とにわけて考へられるが、自然の方面の要素としては、幼稚園の内外的設備と整理を正しくし、美的にして行くといふことである。遊園地のごときも成るべく自然味の多いものでありたい、この自然の環境の内に入つてこれを味ひ得るようにせねばならぬ。次に人事の方面から云へば、もとより保姆その人の人格といふことになる。暖かい感情と、つよい意志とが必要である。こゝに、大に考へねばならぬことは玩はない児童を取扱ふのに、文字や數を教へるのではないので、つひ、遊び相手といふ位の考から特別に修養もいらぬと思ふ人があるかもしれない。しかし、人間が人間として貴くなり氣高くなるといふことは、たゞその仕事の經驗をくりかへすだけで出来るものではない。

たえず自己を向上進歩させるために、知識をもとめまた、多くの人と交はつてその美點を受取るようにしたい。そして書物に親しむといふことはことに大切で其處から己れの感情意志をみがき、ことに幼兒の教育方法はたえず研究をかさねても尙たらぬものであるから實際自分のしてゐる仕事を批判する上に、またその基礎になる理論を研めることを忘れてはならぬ。經驗もとより貴しであるが、たゞ平凡に十年も二十年も、惰性的にくりかへしたのでは進歩はない。幼兒の心理、衛生、手技、手工の原理の考究など、なすべきことは多々ある。砂場で遊ばせるにも、積木をさせるにも、何でこれをさせるか、先生の頭には確とした根柢がなければならぬ。たゞそこに砂場がある、積木がある。子供が遊ぶからそのままさせるのではない。それは子供の方では勿論遊びそのものが面白くて遊んでゐてよいが之を指導する先生は、何の考もなしに、今日もまた砂場に子供が走つたから傍でこれを見てゐるといふのでは無意味である。それでは幼兒の教育の方法が進歩しない。今日迄、どうも幼兒教育のことが遅々として著しい發展をしないといふのも、その責任はたしかに

先生自身の努力。―全體の進歩のための考究に對する―がたかなかつたと云へようと思ふ。無反省に生活をくりかへしてゐては發展するものではない。

○家庭と社會

幼兒は各家庭の一員であるとともにまた大きく國家社會の一員である。そのうくる影響も決して家庭からばかりではない、また幼稚園からばかりではない、その兩方が相俟つて、更にひろくその環境が之と合して、小さい頭にいろ／＼の刺戟を與へるのである。それ故に幼稚園の先生が、自分の園の内にたてこもつてゐただけでは何にもわからない。家庭の研究といふことが必要である。家風の如何、その中に住む人々の心持如何といふことをよく承知して、幼兒によい影響あらしめるよう、陰に陽に力をつくすべきである。更にその地方全體の空氣如何もたえず心にためて、少しでも改善するようにと心掛け、かくて幼稚園の存在する周圍の、その大きな社會にも、たとひ徐々でもたへず刺戟をあたへて行かねばならぬ。社會狀態の研究といふことはまことに大切である。

つまり、今日の幼稚園教育は、家庭の整頓した、境遇のよいものに施すといふことよりも寧ろ家庭の行きとよきかねるもの、そうした家の集合した社會のうちに育つものゝために一層必要なことゝなつて來たのである。近來託兒所、保育園といふ名のもとに、この方面の事業が盛になつて來たのは誠によろこばしいことであるが、こゝに働く保育者にその人を得るといふことは大切で、これが當を得なければかへつて害を將來にのこすおそれがある。

要するに、私共は、この新しい學期に多くの新しい園児を迎へて、たゞまた前年のことをくりかへして居るといふのでなく前述のような各項に心を用ひて、ひろく深く頭をはたらかせて、今年は一層進歩をさせようといふ覺悟があらいたいと思ふのである。